

●しゃらくかい

写楽同会

令和元年7月31日 043

<http://isamusouma.web.fc2.com/>

投稿/投票宛先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2019 Sharakukai

文月兼題「海」 出題：北切雀

写真俳句



1 潮浴びの季節終りて海戻る

去年の写真ですが、夏休みが終わりやっといつもの海になり、ホッとした気持ちを表したかったのですが……。



2 熱砂踏み踊るがごとく海へ駆け

素足になり砂浜へ、焼けた砂にあっち!



3 夏の海山のしじまを映し込み

中国四川省の九寨溝(きゅうさいこう)の海です。この山奥では多くの人が海を見ることはなく湖を海と呼んでいたそうで、湖に海の名前が付けられています。四川大地震でこれらの海は壊滅したそうで、今は見学に行く事はできません。



群青の海の小舟や風は夏

4 群青（ぐんじょう）の海の小舟や風は夏

キプロスの海です。こちらも船上で水平線が傾いています（笑）。



夏の海
際立ちの白
砕け散り

5 夏の海際立ちの白砕け散り

夏の日差しを受け真っ白に砕け散る波飛沫。



遠泳を終えてまどろむ夏の浜

6 遠泳を終えてまどろむ夏の浜

2、3年前ハワイで撮った写真です。ちょうどウミガメが上がってきてさも疲れた様子で休んでいました。



知床の雲悠々と
海猫遊ぶ

7 知床の雲悠々と海猫（ごめ）遊ぶ

斜里の海から知床半島を望むクルーズの船上で。（写真は借り物ですがコラージュしました）



南風ふいて犬も遊ぶよ初夏の海

8 南風ふいて犬も遊ぶよ初夏の海

俳句

1 土用波 一気にでんぐり返しかな

小さいころ土用波にもみくちやにされたことを思い出します。

2 熱い砂水着も踊るよ地中海

3 珊瑚礁はかなくなるや温暖化 (無季)

水温の上昇に対応できない珊瑚礁の白骨化が進んでいる。

4 白南風 (しらはえ) や沖行くタンカー遅々として

ようやくの梅雨明け、晴れ晴れとした海を望む。

5 潮風に烏賊焼き匂わん海の家

遠くに見える海の家、烏賊を焼いている匂いが匂ってきます。

6 水着つけ熱き砂ふみ海水へ

7 ムームー着てワイキキの浜母卒寿

ハワイに旅した老母のハデな恰好が、何の違和感もなく景色に溶け込んでちょっと感動しました。



沖縄の珊瑚礁

撮影：読者MBさん

短歌

風渡り
風車カラカラ赤帽子
地藏菩薩の
賑やかに立ち

準坊

芝の増上寺の一角に千鉢子育地藏菩薩が祭られています。緑の木々の中に整然と色鮮やかに立ち並んでいます。



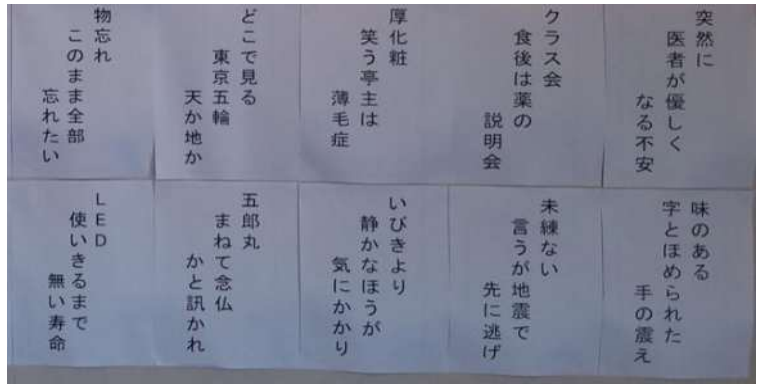
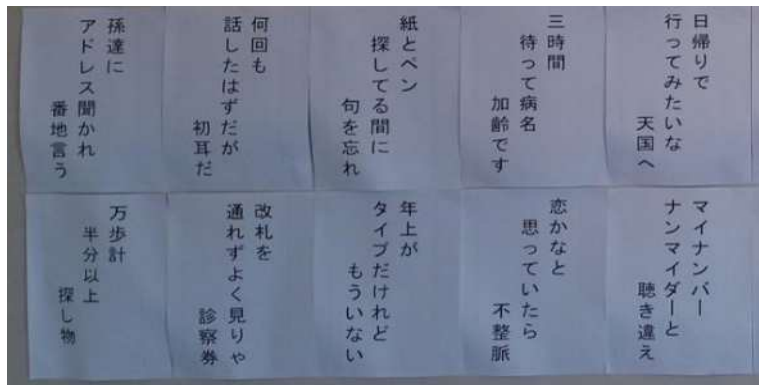
川柳

丁寧にしっかり答弁はぐらかす 準坊

国会質問で又出た「しっかりと丁寧に」得意のはぐらかし。

火に油何しに行ったイランまで 準坊

安倍さんイランへ行った途端にキナ臭く。

第18回「シルバー川柳入選句」**写真投稿**

iSAMU 3点



Air plantsの花



柳瀬川のハルシャギク



銀梅花

令和元年6月「雨」（出題者：読者KHさん）の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

* 連休明けのどんよりとした毎日に皆様の作品を見てとても癒されています（EHさん）。

写真俳句 投票数：31

一席

夏ぐれの明けを待ち侘び磯に立ち 準坊（6票）

<< 季語「夏ぐれ」は沖縄地方の梅雨。
竹富島コンドイビーチにて。>>



- * 夏ぐれが過ぎれば、灼熱の太陽のビーチですね。
- * 梅雨晴れを待っている感じが良く表現されていると思います。
- * 「気持ちはもう夏」っていう元気な感じが溢れていて楽しくなります。
- * 夏ぐれが梅雨の事とは知りませんでした。いつも勉強になります。
- * 「夏ぐれ」は南国の魅力的な夏の言葉。夏の真っ青な空と海との思いを対比させて秀逸。
- * 夏ぐれとは綺麗な言葉。柔らかいブルーにグレーの画像が素敵。
- * フランス映画の1シーンのようですね。下五が物足りない気がしました。



絮（わた）に雨たんぽぽ今朝は飛びそこね

北切雀（6票）

<< たんぽぽは春の季語ですが。>>

- * 写真と句がよくマッチしていますね。
- * 雨に打たれ飛び損ねた綿毛。青春の挫折を味わうに似ている。
- * 濡れそぼっているたんぽぽの綿毛が、何だか寒そうです。



雨やんで目の前に立つ虹明し 千泉

<< 大きな虹に感動しました。>>

- * 空の明るさを分けるような見事な虹ですね。素直な感動が表現されていて頷いてしまいました。
- * 見事な虹は心揺さぶられますね。虹の麓に宝がありそうです。
- * 本当にご褒美のような虹ですね。



岩煙草小雨に打たれ庫裏の裏 iSAMU

<< 鎌倉・東慶寺の岩煙草（夏の季語）です。>>

- * 「岩煙草」という草花を初めて知りました。
- * 静寂な境内に咲く花・涼しげながら寺の歴史を垣間見れる句。
- * 茶花のような趣の花ですね。これがイワタバコですか。



トンネルの裸電球 梅雨はじめ 昼寝覚

<< 写真は「伊豆の踊子」で有名な旧天城トンネルです。今は新しい道ができ、人も車もほとんど通らなくなった道ですが、トンネルには裸電球だけがポツポツと灯っていました。>>

- * 梅雨入りの感じが良く出ていますね。
- * 川端文学・名作の旅芸人の踊り子が今そこに現れてきそう。
- * いつか行ってみたい場所です。
- * ジメジメ感がハンパないですね。



夜半の雨支柱空しき透かし百合 久芽

<< 折角支柱したのに、大きな口を開けているから、昨夜の雨で花が折れてしまいました。>>

- * 残念な気持ちが伝わります。
- * 丹精込めて育てたのに、悔しいやら悲しいやら。
- * せっかくの丹精が……。せめて花瓶に生けて楽しみましょう。
- * 夜半の雨が良いですね。朝見てありやーですね。あとは花瓶で楽しめませうやん。



水無月や雨川海と水めぐり 梵木

- * 水無月は水の無い月ではなく「水の月」。降り続ける雨の“流転”中七、下五を巧みに使い大きな句になっている。
- * 生命を支える恵の水。エコロジーを考えさせられる句です。



五月雨に朝餉のカラス戸感いて 池福楼

<< 羽根が濡れるのはイヤだな～でもお腹がすいたな～。>>

- * カラスの何とも言えない表情が句とぴったりですね。
- * 利口者のカラスも雨にはお手上げ？濡れ羽色とネットとの色の対比が見事。
- * カラスによるゴミ荒らしには困ってます。雨粒は加工ですか？

作者からの回答:写真では雨が少なく見づらいので加工しました。
マンガチックな画像を講じました。

俳句 投票数：29

一席

木の匂い 草の匂いも 緑雨かな 昼寝覚 (8 票)

<< 助詞を「の」にしようか「に」にしようかと考えたのですが、雨で匂いが増したような感じが出ると、「も」にしました。乞ご批評。>>

- * 梅雨時は匂いは特に強く感じます。
- * リズムがいい句です。「も」は全面的肯定の意として成功ですね。
- * 緑雨のお陰で草木も生き生きとしてきます。
- * 「も」でいいと思います。雨で葉や草の匂い、土の匂いも増すと思いますもの。しっとり水分を含んだ自然の香りですよ。
- * 助詞は難しいですね。「に」だと方向が出て、また「ここだ」と場所を特定できる気がします。おっしゃるように「も」と並列にすることで、意図の「匂い」が強く立ち昇ってきますので、「も」で良かったと思います。
- * 「も」でいいと思います。

佳作7句 (令和元年6月号掲載順)

紫陽花に慈雨 いくつもの笑みひろく 池福楼

<< 紫陽花は雨が大好き。英語名は「水の器」というそうです。>>

- * 英語で水の器とは、ロマンティックですね。
- * 雨空の暗さを吹き飛ばすやさしくて明るい句で素敵です。
- * 優しい句ですね。
- * ロマンチック。イギリスでは開花時期が長いので人気の庭木です。

雨空を突き上げるごと立葵 準坊

<< 真っ直ぐに雨にも負けず伸びる立葵。>>

- * 立葵の姿をよくとらえた句だと思います。
- * 力強い花の様子がよく表れています。
- * 梅雨入りを知らせる花が元気を分けてくれる。
- * 春を過ぎ植物の盛り季節。その力を上手に表しています。
- * 本当に上へ上へとまっすぐな花ですね。

白南風や雨粒あまた硝子窓 北切雀

<< 白南風(しらはえ)とは梅雨があける頃に吹く南風です。>>

- * 雨粒がガラス窓に打ち付ける感じが読み取れます。
- * 今年のように梅雨が長いと白南風が早くこないかと思う。



撮影：北切雀

- * 水紋の写真いいね！水滴でできたいくつもの水紋に躍動感があって、自然のアートをよくぞ切り取って写真に収められましたね！
(FNさん)

水無月は犬もイヤイヤ雨の暮れ 梵木

- * 散歩が楽しみのワンちゃんもこの雨ではね。
- * 毎年の事ながら、わんこもうんざりのこの季節。

出来映えに笑みし父あり作り雨 千泉

<< 作り雨が夏の季語と知り 子供の頃父が庭木の上に作った装置を思い出しました。 >>

- * 庭仕事がお好きな父上だったのでしょね。
- * 家族に少しでも涼を、と思われたのでしょ。優しいお父様でしたね。
- * 自信作の作り雨、見てみたいですね。
- * 雨も楽しむ日本人の智恵がいいですね。キラキラ輝く水しぶきが涼感を誘う。

雨間に靴を履き替え梅拾い 久芽

<< 雨が止みました。前から気になっていた梅の木があり、ぬかるみの所なので長靴に履き替えて梅を拾いに行きました。 >>

- * 靴を履き替え梅を拾う人物と行動、雨上がりや梅の香り、ぬかるみの触感などなど、五感に響く句です。
- * 梅を雨上がりに拾っている光景が、ありありと浮かぶ句です。

- * 「雨間に」は「あまあい」に読むんでしょね。振り仮名を振ってもらえると、皆さんが読むときにリズムに乗ってずっと読めるかもしれません。私は梅酒が大好きです。梅拾いして自分で漬けられたらどんなにいいでしょう。

編集担当: 作者から要望があった時にだけルビを振っていますが、貴重なお意見ありがとうございました。

短歌

美人林
木漏れ日浴びて
きらきらり風は緑に
輝き渡り

準坊

<< 新潟県十日町市の美人林にて。
樹齢100年程のブナの林でその立ち姿が
とても美しいことから「美人林」と
呼ばれています。 >>

- * 思わず深呼吸してしまいました。



川柳

マス席に椅子あつらえておもてなし 準坊

座布団で十分でしょと思うがまるでペリー来訪だね。

トランプ氏YOUは何しにニッポンへ 池福楼

日本には超VIP待遇の観光旅行？

- * お二人に同感。至れり尽くせり対応には呆れました。



雨やんで目の前に立つ虹明し 千泉

推薦者：3名

- * 色のコントラストの美しさと全体的な雰囲気がある何かとても印象的で気になる写真です（EHさん）。
- * 虹の色が際立って綺麗、まさに虹明しですね（準坊）。
- * 句もさることながら、なんとも色がすてきな写真です。眼福でしたね（北切雀）。

写真投稿

読者CSさん



夏蝶の仮親となり貰い葉す CS

<< ベランダの鉢に食べ終わった河内晩柑の種を埋めておいたら5本程芽が出て、そこそこ大きく育ちそこにアゲハ蝶が卵を産み付けていくようになりました。無防備においしそうに葉を食べる幼虫達。変態の様を身近に見ることが出来、命のドラマを観察させてもらってます。鉢の葉が食べ尽くされ近所で柚子や夏みかんの葉を分けていただき、何とかサナギになるまで面倒みました。>>

- * 素晴らしい自然観察。興味深く読みました。蝶のサナギを我が子を育てる親の気持ちで面倒を見たというのは優しさに満ちていますね。
- * 昔、お蚕さんを育てた事を思い出しました。「朝顔につるべ取られて・・・」のやさしさですね。毎年なのですが鮭や海亀のように生まれ故郷への嗅覚/記憶があるのでしょうか。いづれにしても自然の不思議さ、巧さに畏敬。

- * 作者さん、読者さん、いつもご協力ありがとうございます。多々ある不備、不手際のお見逃しも感謝です。
- * 葉月8月兼題はISAMUさんから「戦」、長月9月は昼寝覚さんから「道、路」と出ています。
- * 文月7月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
- * 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね!」として投票下さい。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳も大歓迎です。
- * 文月7月号への投票、葉月8月号作品への投稿の締め切りはともに8月20日です。
- * 随想、珍事報告など書き込みの他、読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしています。

「写楽句会」(五十音順)

池福楼、iSAMU、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木

写楽句会043 (連絡先: kinuko_thompson@hotmail.com)

© 2019 Sharakukai

筆責: 北切雀

校正: 準坊、池福楼

<http://isamusouma.web.fc2.com/>

